

## 年頭のご挨拶



鹿児島市長

下鶴 隆央

令和三年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島市医師会の皆様におかれでは、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、昼夜を問わず、医療の最前線でご尽力されていることに深く敬意を表します。

また、夜間急病センターの管理運営をはじめ、予防接種や健診、介護保険の認定、本市主催の各種協議会等への参画など、市政の各方面にわたり、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

このたび、私は、市民の皆様の信託をいただき、伝統と栄光ある県都鹿児島市の第二十一代市長として重責を担わせていただくことになりました。

これから四年間、本市のさらなる発展をめざし、その使命と責任を果たすべく、全身全霊を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染症は、市民生活や地域経済に大きな影響を与えており、今後も人々の行動や価値観などあらゆる面において、その影響が続くことが予想されます。

また、国においては、ウィズコロナ、そしてアフターコロナを見据え、デジタル社会の実現に取り組むとともに、地方への新たな人の流れをつくるなど、活力ある地方づくりを進めていくしております。

このような時にあたり、一日でも早く市民

の皆様が安心して日常を送ることができるよう、さまざまな状況の変化を見極めながら、徹底した感染拡大防止と社会経済活動の両立を最優先・最重要課題として、市民の皆様の「いのち・暮らし・しごとを守る」取組を全力で進めてまいります。

そして、社会のあり方が大きく変わりつつある中で、市民の皆様のご意見を幅広くお聞きし、まちづくりに関わるあらゆる方々の知恵と創意を結集し、まちづくりの長期的なビジョンである新たな総合計画の策定を進めてまいります。

将来の子どもや孫の世代にも豊かな鹿児島市を引き継いでいくため、時代の動きに対応し新たな発想を積極的に取り入れ、全ての人が希望とチャンスを持てるような、ワクワクする新しい鹿児島市を皆様とともに創ってまいりたいと考えており、保健・福祉の分野におきましても、皆様方との緊密な連携のもと、質の高い地域医療の充実と市民の健康増進を推進してまいりますので、今年も一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますことと、鹿児島市医師会のますますのご発展を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。